

通信サービス停止の補償は？ - 西日本防災システム

2013 10 14

10月14日 今月9日シンガポールのブキパンジャン交換所の火災で光ファイバーが損傷を受け、通信サービスが一時停止した事故で、通信最大手のシングテルは、影響を受けた個人客向け損害補償内容を発表したようです。シングテルの回線を利用しているほかの通信事業者、銀行など法人顧客については個別に損害状況を聞き、対応するそうです。

ブロードバンド・サービスの利用者**6万人**に対しては、追加料金なしで今後3か月間、契約の通信速度より早い速度でサービスを提供するそうです。

マイオ・テレビ加入者**4万4,000人**に対しては1か月間、すべてのチャンネル視聴を**無料**にし、固定電話線の加入者には1か月間、国内電話を**無料**にするんだそうです。

この火災事故では**149本**のケーブルが損傷したようです。そのうち3分の2はオープンネット用で、スターハブとモバイルワン(M1)の顧客にも影響が出ているようです。

事故はシングテルの当初の発表より深刻で、全面復旧にかなり手間取っているようです。



西日本防災システム
NISHINIHON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd

<http://www.nbs119.co.jp/>



弊社top pageへ

